

事業者向け 児童発達支援自己評価表

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	33%	66%	人数が多い時にはグループ分けを行い療育をしている。
	②	職員の配置数は適切であるか	100%		配置は足りているが、子どもの様子に応じてマンツーマンで対応している。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	33%	66%	見て行動出来るように視覚的な支援メリハリを心掛けている。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	33%	66%	消毒は徹底し場面に応じて繰り返し清潔を保っている。
	⑤	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	100%		目標を設定した後実施するためにはどのような事を行ったらいのか支援者で話合いの時間を取り、アクションを取りたい内容を伝えるようにしている。
	⑥	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%		アンケートを実施し保護者の意見を今後取り入れる予定。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等	83%	16%	今後結果を個人へ通知予定
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	66%	33%	今後も相談していく
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	83%	16%	他事業所の見学をさせてもらい療育のヒントとしている。
適切な支援の	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%		保護者の意向と職員の意向が同じになるように努めている。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100%		子どもの現状を把握しそのためにどんな取り組みをするべきか検討する。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	100%		相談支援が作成した計画を基に本人が半年で目標を達成できそうな物を作成し療育へ生かしている。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100%		その子に沿った計画を作成し職員への周知を行っている。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%		どんな活動が成長への手助けとなるのか、支援者で日々相談しながらプログラムを作成している

提供	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%		色んなプログラム内容を用意し子どもたちが楽しめる物を取り組んでいる。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%		集団の活動、個別の活動を取り入れその子に合った内容を考え組立てるようにしている。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%		毎日午後出勤の職員も一緒に昼礼を行いその日の内容の確認を行っている。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%		記録を記入しながら振り返りの時間を作り、足りない部分は朝礼、昼礼で話し合いの場を設けている
	⑲	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%		前回の様子に踏まえ今後の対応を話し合っている。
	⑳	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%		モニタリング時期に保護者と話す時間を設けている。
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス等担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	100%		個別担当職員がいるため最もその子の事を理解している職員が担当者会議に参加する様にしている。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	100%		子育て総合センター、地域の保健センターに出向き子育て支援で悩んだり、保護者支援で伝えた方が良い事は保護者の了解を得て伝え連携を図っている。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	16%	83%	地域の保健センター、子育て、障害福祉課、医療関係と連絡が取れるような体制を取っている。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	16%	83%	協力医療機関と連絡が取れる様にしている。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	83%	16%	支援の方法に悩んだ時には相談し解決を求めている。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100%		就学前、又は検診の前に情報を教えて頂き、こちらでの様子も伝える事で情報の共有を行う事が出来た。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	83%	16%	子ども子育て総合センター、保健センター、病院等に出向き助言や支援内容の確認を行っている。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	83%	16%	外出活動や公園での戸外遊びの際交流を取り入れている。
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	16%	83%	市で行っている連絡会に参加した。コロナ渦のため開催の回数は減っている

	⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%		子どもの様子を保護者に伝え良いか確認を取りようになっている。
	⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	50%	50%	ペアレントトレーニングは行っていないが、保護者間交流を行う事で対応のヒントやレスパイト支援の時間を提供している。
保護者への説明責任等	⑫	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%		利用が開始される前に説明しわからない時はその都度説明するようにしている。
	⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	100%		相談支援で作成した課題をより具体的にした内容を保護者にわかりやすい形で計画書を作成している。モニタリング、計画書作成後に説明出来る様に努めている。
	⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%		子どもとの対応方法に悩んだ保護者がいた時にはその時にアドバイスをする事で保護者支援に努めている。
	⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	66%	33%	年に数回ではあるが保護者間交流を行った。今後も状況を踏まえ行って行きたいと思う。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%		その場に応じて職員で話し合い迅速に対応している。
	⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	83%	16%	メール等情報伝達手段を使い活動の様子を保護者に送るようにしている。
	⑱	個人情報に十分注意しているか	100%		保護者に同意書を記入して頂いている。その内容に寄って注意して扱っている。
	⑲	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%		すぐに連絡が付きやすい物で情報伝達を行っている。
	⑳	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	66%	33%	今後検討していく
	非常時等の	㉑	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	100%	
㉒		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%		月に1度避難訓練を実施して避難経路、避難の仕方等訓練している。
㉓		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	100%		アセスメントの際に確認をしている。
㉔		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100%		アレルギーの有無を事前に確認している

対応	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%		ヒヤリハットがあった時には周知し、再発防止に努めている。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%		虐待防止委員会を設置し研修を職員全員行うようにしている。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%		身体拘束に当たる支援は今現在は必要ない児童が多いため行っていないが、その事例が出た時には保護者に必要な事を伝え計画書に記載する様にしていく。

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。

「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。